

あなたの手を、世界の誰かに。

2018年1月1日



## セカンドハンド通信 NO.91

公益社団法人 セカンドハンド 本部事務局 TEL&FAX 087-861-9928  
〒760-0055 香川県高松市觀光通1-1-18  
E-mail:jimukyoku2hand@yahoo.co.jp http://2nd-hand.main.jp/  
ブログ:https://koekihojinsecondhand.wordpress.com/  
Facebookもしています！ [セカンドハンド Facebook] [検索]



## セカンドハンド松縄店オープン！



オープン日はたくさんの方々が足を運んでくださいました！



ボランティア体験コーナーもあります！

“幅広い世代に愛されるチャリティーショップ”を目指し、昨年秋から徐々に準備を進めてきた松縄店。「どんなお店だったらより多くの方々に足を運んでもらえるのか」。松縄店オープンまでの間、ボランティアの方々と何度も会議を重ね、12月7日ついに念願のオープンの日を迎えるました！

店内は空間デザイナーの宮本由美さんにご協力いただき、とても居心地のいい空間が完成しました。車移動の多い方々にもお気軽にご来店いただけるよう、駐車場（4台）も完備。提供品の搬入も楽になり、お買い物もゆっくりお楽しみいただけるようになりました。また、お子様連れの方も気兼ねなく来ていただけるよう、セカンドハンド初のキッズスペースもご用意しています。そして、みなさんがより気軽に国際協力について考えたり、実践したりできるよう、支援先について知ることができるコーナーも設置しました。

私たちの想いがたくさん詰まった松縄店へ、ぜひ一度お越しください！

松縄店でも、学校や団体等からの体験学習や研修の受入れが可能。市民の皆さんから提供していただいた品物が、商品として販売され、カンボジアの子ども達の支援金となるまでの、チャリティーショップの一連の流れを体験できます。ご希望に応じて柔軟に対応いたしますので、お気軽にセカンドハンド事務局までお問い合わせください。

松縄店で一緒にお店を盛り上げてくれるボランティアを探しています！空いた時間に時間でもOK♪松縄店では提供品も受け付けています！

### セカンドハンド松縄店

〒760-0079  
高松市松縄町37-5  
営業時間：11時～19時（仮）  
TEL:080-4999-0494  
Email:matsunawa2hand@ymobile.ne.jp

至栗林公園

レインボーブリッジ  
通り

高松志度線（県道272号線）

広瀬  
病院

●香川県信用組合中央支店

セブン  
イレブン  
高松  
松縄店

●ひよこっと  
ホームランドーム  
高松店



「セカンドハンド」は、ボランティアが主体となって運営する国際協力団体です。主な支援先はカンボジアで、学校建設や奨学金支援などのほか、自立・医療・孤児院支援を行っています。資金源は皆様のご寄付とチャリティーショップ（提供された品物を無報酬のボランティアスタッフが販売）。一人ひとりの力は小さくても集まれば大きな力となる」をモットーに活動しています。世界の誰かのために、あなたの力を貸してください。

商品提供やご寄付など、支援してくださった皆様へのお礼とご報告は、このニュースレターにかえさせていただきます。

# オー・トゥク・ビル小学校完成！



オー・トゥク・ビル小学校は、バッタンバン州北西部、市内から車で1時間半ほど山道を進んだところにあります。市街地から遠く離れ発展が遅れているため、人々の暮らしは困難な状況に置かれています。

職員が事前調査で訪問した2016年、教室は2部屋しかなく、屋外の炎天下で中勉強している子ども達もたくさんいました。既存の2部屋も、建物を支えている柱は腐敗が進み今にも崩れそうな状態で、子ども達は不安を抱えながら、それでも勉強をしたいという一心で学校生活を送っていました。

新校舎は2017年9月11日に完成しました。建築の質は良好で技術的にも申し分なく、快適なトイレや校舎が出来上りました。学校は10月中旬から運用を開始し、2部制により午前・午後それぞれ3クラスずつ合計6クラスで運営されています。今後は、新しい校舎で安心して勉強できることから、入学希望者の増加、退学者の減少が期待されます。

連携団体：公益社団法人シャンティ国際ボランティア会（SVA）

支援額：320万円／事業予算：約660万円

（校舎3教室、備品、トイレ、貯水タンク、建設中および建設後のモニタリングなどの経費も含まれています。）



校長 セイン・ピットさん

私は現在26歳で、オー・トゥク・ビル小学校で3年間校長を務めています。支援いただいた新校舎が完成し、とても誇らしく思っています。これから子どもたちは新しい校舎で、以前のように雨や暑さ、強い日差しに悩まされることなく勉強できます。また、雨期に授業を中断することもなく、児童たちは毎日授業時間いっぱい勉強できます。私ども教員一同は、児童たちと共に新校舎を良い状態で維持できるよう精一杯の努力をしてまいります。最後に支援していただいた皆様に感謝申し上げます。



小学校3年生  
ビーン・ソックラーくん

素敵な校舎で勉強できるのはとても嬉しいです。友だちとも、新学期からは天候による中断もなくしっかりと勉強できることを楽しみにしています。

好きな科目は数学です。私は11歳で小学校に入学し、現在は14歳ですが、より多くの知識を身につけたいので、中学校にも進学したいと思っています。この学校をご支援くださった皆さまのご健康とご成功をお祈りしています。ありがとうございました。

第一弾

## フェアトレード商品販売でのご支援！



日本各地のお店やイベントでセカンドハンドのフェアトレード商品を販売することで支援をしてくれるくださっている方がたくさんいます。今回は、そのうち2箇所、天勝丸亀店（香川県丸亀市）と麻生学園深沢幼稚園（東京都世田谷区）をご紹介します。



天勝丸亀店

丸亀市にある天勝さん。レジの隣のスペースにフェアトレード商品を並べてくださっています。

天勝丸亀店 鈴木さん



麻生学園深沢幼稚園

毎年、11月に行うバザーでフェアトレード商品の販売をしてくださっています。

深沢幼稚園の先生とボランティアの白川さん

# カンボジア 支援先からの声

## 医療支援

### 2016年度 救命救急室建設支援 スヴァイティアップ病院



チョムラウン院長

救命救急室の建設をご支援頂きありがとうございました。救命救急室が完成した現在も病室が足りず、多くの患者が廊下で寝泊りしているという状況があるため、普段は病室として利用していますが、急患が運ばれてきた時にはすぐに場所をあけて処置できるよう、必要な機材はしっかり配置しています。カンボジアでは、多くの人にとって医療費はとても高いものです。それもあって、とてもひどい状態になってからやっと受診する場合がほとんどです。街の薬屋さんにはいつも行列ができていますが、病状を自己判断し薬を服用するため、さらに悪化することもあります。患者数に対し医師の数が少なく、夜勤が続いている大変な日々ですが、人の命を救うことができるこの仕事にとてもやりがいを感じています。これからも、一人でも多くの命を救うべく、誇りを持って仕事に励みたいと思います。

## 自立支援

### ラチャナ・ハンディクラフト バッタンバン 1994年よりフェアトレード商品の継続的買入れ



ヴァン タラさん  
(20代女性)

私がここで働き始めて10年が経ちました。家族は、夫と2人の子どもの4人家族で、家では田んぼや畑仕事もあり、収穫の時期にはとても忙しいのですが、ここでは自分のペースで仕事を続けることができるので、とても働きやすいです。また、自分が家計の役に立っているということを感じることができるのが一番の喜びです。昔から大好きだった裁縫。好きなことを仕事として続けられて幸せです。日本のみなさん、ありがとうございます。



ヴァン タヴィさん  
(20代女性)

私がまた幼い頃、姉がここで働いていた姿を見て、私もここで働きたいと思うようになりました。今は結婚して子どもが一人います。まだ小さくていのいど手がかかるのですが、子どもを連れてきて仕事ができる環境なのでとても助かっています。自分が作ったものが売れるのを見ると、とても嬉しくさらにやる気がでてきます。働き始めてまだ数年ですが、これからも頑張って続けていきたいです。

## 教育支援

### 2016年度建設支援 チョム・ノブ・コキ小学校

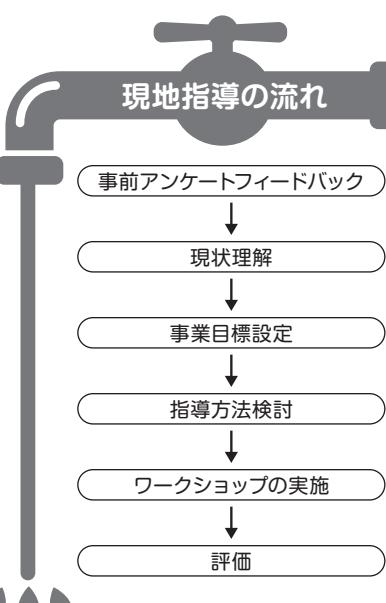


ケム サンボさん  
(24歳教員)

新校舎の運営開始から1年が経ちましたが、私自身を含め大きな変化がありました。新しい校舎が完成したことでの児童たちへの指導と教材の管理がしやすくなり、大変助かっています。また、児童たちが快適に学習している姿を見ると、私も日々の指導に力が入ります。自由時間には、校庭で楽しくサッカーをしている児童たちもたくさんいて、私自身も大きな喜びを感じています。

22校舎目

# ホームランドスクール プロジェクトの現場から 保健衛生指導者育成

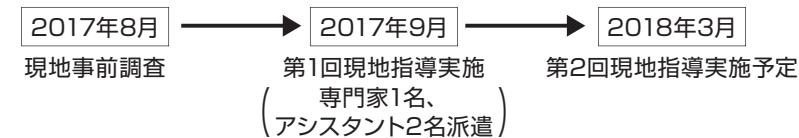


## <ワークショップの流れ>

- 手を洗わずにケーキを食べたオムミー先生は…その後激しい腹痛に襲われる。  
「どうして先生はお腹が痛くなったのかな？」
- みんなで手洗いをして、洗い残しがないかチェックで点検してみよう！

## プロジェクト目的

- ホームランドスクールの指導者への保健衛生教育の知識、技術の向上
- ホームランドスクールに通う子ども達の保健衛生状態の向上



## スクール 幼稚部スタッフ紹介



オムミー 22歳



アフィラ 22歳



モン 23歳

まず、事前アンケート(使用している水について、清潔行為に関することなど)結果をスタッフと一緒に確認することで、「上水道を使って生活している子もいるけど、井戸水や雨水を使っている子もまだたくさんいるな」「ほとんど歯磨き・手洗いをしていない子が多い」「歯磨きや手洗いは必要と思っている子がほとんどだけど、実践まではできていないな」など、子ども達の現状について理解を深めることができました。

子どもはもちろん、スタッフの知識と技術の向上が必要だと再確認しました。

そして、アンケート結果を元に、スタッフと一緒に事業の目標を決定しました。

スタッフの希望により、歯磨き・手洗い指導のうち、今回は手洗い指導に絞って実施することにしました。専門家より紹介された教材案の中から、手洗い手順とチェックカードを使ったワークショップをすることにし、「劇をしたら子ども達は楽しんで学んでくれそう!」とのスタッフの意見から、寸劇も入れることに決定しました。



アンケート結果のフィードバック

目標:3ヵ月後、子ども達が食事の前に手を洗うことができるようになる



紹介した教材案  
\*手洗いの手順  
\*手洗いの絵本  
\*手洗いチェックカード



スタッフに子ども達の生活環境を把握してもらうため、地区踏査を行いました。  
また、スクールに通う子ども達の家を訪問し、生活の様子や周辺の環境について観察しました。

## 地区踏査



こんなところにもクリニックがある！



スクールの近くには病院やマーケットもあって、割と便利な地域だな

地域の生活環境は健康と密接な関わりを持ちます。地区踏査を行うことで、住宅の状況、公共交通機関の状況、人々の様子等、地区的な状況を把握することができます。

## 生活環境調査

- 家は木やトタンで作られている
- 家畜や動物が放し飼いされている
- 家中は電気もなく薄暗い



- 大人数で生活している
- 各家庭の前には、雨水をためる壺が設置されている

## 岡本ゆいさん(香川県立保健医療大学3年)

カンボジアに実際にに行ってみると、発展している面も多くあり、貧富の差を感じました。特に子どもたちの家を見たときには、自分がどれだけ恵まれたところで生活ができているのか感じることができました。

今回アシスタントとして参加した指導では、現地であるものを使って指導すること、今まで習慣づけられていないものを習慣づける難しさを感じることができました。ただ一方的に教えるのではなく、相手の価値観や気持ちを聞きながら、相手のペースで指導していくことの大切さも学ぶことができました。カンボジアに行く前にネットや本で調べたこと以上に、現地に行き、実際に目で見て、人の話を聞くことが本当に大切だし、行ってから分かることがたくさんありました。現状を知ることができたからこそ、次に自分にできることを考えるきっかけになりました。

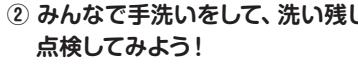
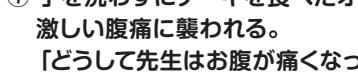
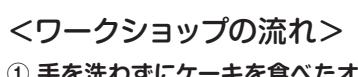
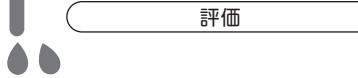
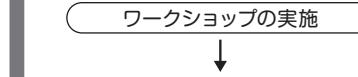
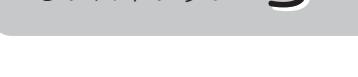
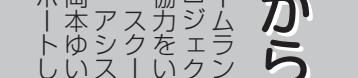
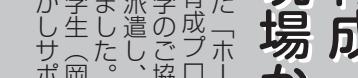
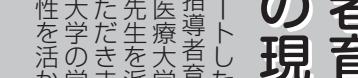
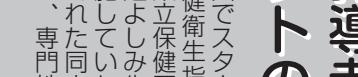
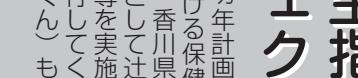
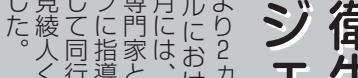
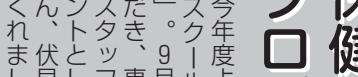


## 辻よしみ先生(香川県立保健医療大学 公衆衛生看護学准教授)

「保健衛生指導者育成プロジェクト」に専門家として参加させていただきました。当初、異文化で言語の通じない国の中で、どこまで理解し実施できるか、手探りの日々でした。しかし、現地の若い先生方やアシスタント学生と共に少しずつ互いの意思や考えを共有し学習していくことで、PDCA (plan-do-check-act cycle) サイクルの段階に基づき、保健衛生教育の計画・実施・評価まで実施することができました。最終に実施した保健衛生教育では、こども達の楽しく学べている姿を見ることができ、また先生方の実施後の達成感やアシスタント学生の満足感等を聞き、とても有意義な時間になったと思っています。また、私にとって異文化の中での保健衛生教育支援の在り方を考える大変貴重な経験となりました。今後も、この様な事業を継続的に実施することで、カンボジアの保健衛生レベルの向上に繋がっていくと感じています。これからも皆様のご協力をよろしくお願いします。



劇で子ども達の興味を引きつける



# 体験学習の受入れ

三木中学校、山田中学校、玉藻中学校、高松第一学園の体験学習の受入れを行いました。

また、玉藻中学校、高松第一学園には、講師を派遣し事前学習も行いました。



バザーのための商品準備(三木中学校)



中学2年生：  
今回の活動を通して、いろんな人の優しさにふれる事ができ、これがやりがいなのかなど感じました。人のために動いたり、働くような人になりたいです。



衣類の値札付け(高松第一学園)



中学3年生：  
今回の学習で私はボランティアの大切さだけでなく、楽しさも感じました。これからもボランティアをしていきたいなと思いました。



小学校6年生：  
もう使っていない物を寄付してカンボジアの人たちを救うことができるのを感じました。



お店に食器を補充!(玉藻中学校)



中学3年生：  
私たちが当たり前にできていることが出来ない人達が世界にはいることを改めて知り、人権について考えることができました。



セカンドハンド・ユースと一緒にイベント準備(山田中学校)

## 研修の受入れ

11月11日(土)、かがわ環境カウンセラー協議会が主催する「わかりやすい体験型環境リーダー養成塾」の講座のうちの1講座をセカンドハンドで実施しました。また、11月26日(土)には、青年海外協力隊OV会の皆さんのが研修に来られました。セカンドハンドが行う循環型リユースシステムや、運営の仕組みについて大変興味をもっておられ、多くの質問をいただきました。



### かがわ環境カウンセラー協議会 竹谷様

「なるほど」と考えさせられました。チャリティと環境保全を両立させているだけでなく、途上国に不用品でなく金銭的な援助を行う、寄付している方に対しても販売できない物は断る、このような凜とした姿勢が印象的でした。また、徹底した経費削減や系統的な体制など、20年以上も継続してきた蓄積かと思いました。私たちも環境学習を中心に活動していますが、今後のために大いに啓発されました。ありがとうございました。

## 春日町倉庫整理ボランティア大募集!



これまで衣類、くつ、かばん、着物などの在庫を保管していた春日町倉庫が、今年度末に契約満了となるため引越しをすることとなりました。整理・運び出しには多くのボランティアの方の協力が必要となります。春日町倉庫の整理にご協力いただけます方は、セカンドハンド事務局までご連絡下さい!

# 各地でひろがるセカンドハンドの輪

## セカンドハンド北海道



11月23日(木・祝)、札幌国際プラザにて、「フェアトレードタウンさっぽろを目指して」というセミナーが開催され、フェアトレードに関する講演とパネルディスカッションの合間にセカンドハンド北海道を含む協力団体の紹介とフェアトレード商品の販売を行いました。(吉田)

## セカンドハンド関東

10月21日に三木理事長が東京に来られ、セカンドハンド関東のメンバーと意見交換を行いました。顔を直接合わせての意見交換はとても貴重な機会でした。私は12月より2年間、WFPセネガルで国連ボランティアとして勤務する為、活動メンバーがこれまで以上に少なくなります。関東としてはこれまで通り、無理せず、できる活動を模索していくつもりです。これまで通り、本部と連携したり、私はセネガルに行ってからもできるだけ連絡を維持するなどし、関東や本部のお役に立てることがあれば、と思っています。(阿部)

## セカンドハンド・ユース



国際フェスタの様子

9~11月には、毎月の定期街頭募金に加えて、学校の体験学習の受入れで生徒のみなさんと募金活動を行い、96,524円を集めることができました。また、多くの方にご協力をいただき、国際フェスタ、保健医療大学祭に出店させていただきました。ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。セカンドハンド・ユースでは、一緒に街頭募金活動をしてくださる方を募集しています。興味のある方はセカンドハンド・ユースのメールアドレス宛にご連絡ください。

セカンドハンド・ユース(代表:原雄一朗)

secondhand\_youth@yahoo.co.jp

新代表挨拶:香川大学経済学部3年 原雄一朗(写真右)

「カンボジアに行けるよ!」と大学の先輩がユースの紹介をしてくれたのがきっかけでユースの活動を始めました。活動を続けていく中で「日本での活動が本当にカンボジアの学生の役に立っているのか」と考えるようになり、それを確かめるために実際にカンボジアに会いに行きました。支援先の学生から直接お礼の言葉をもらった時、国境を越えて人の役に立てるユースの活動がとてもやりがいがあるものだと気づきました。代表という立場になり、責任を感じることも多々ありますが、様々な気づきや出会いを与えてくれたユースの活動に恩返しができればと思っています。

## SPECIAL THANKS



9/1~11/30までの3ヶ月間にご寄付などでご寄付くださった方々です。その他にも様々な形でご協力くださった皆さまありがとうございました。

【寄付者】愛知学泉大学・短期大学、岡崎城西高校、相原佐代子、相原裕美、青井恵子、青野千恵子、伊賀憲子、石見和弘、入江治子、植田和子、浦田榮二、大山治彦、荻浦いく弥、貝原博子、川崎多恵子、川田貴美子、木村明仁子、酒井恵津子、庄司一美、白川ふみ、末澤一誠、大光菊江、太陽と緑の会 杉浦良、塚田泰代、鳥かい歯科医院、中澤力、中村凱次、西川秋美、沼田章、のぞみ総合法律事務所、蓮井孝夫、林田物流株式会社 代表取締役社長塩田学、原雄一朗、福島康子、升崎里美、松原志乃、マンスフィールド雪江、美濃吉広、宮本明宣、山下英城、横田千春、吉田正強、吉田治代、吉本房子

【その他】天勝丸亀店、深沢幼稚園、永井敬子、和カフェぐう <敬称略>

# Second hand Official Supporter: SOS会員募集

教育支援・医療支援などの特定目的ではなく、セカンドハンドの活動を全般的に支えていただくSOS会員（賛助会員）制度があります。お申し込みは同封の払込用紙のご利用もしくは定額自動引き落としをご利用いただけます。お名前、ご住所を事務局までお知らせいただければ、所定の申込用紙を郵送いたします。（セカンドハンドのウェブサイトからもダウンロードできます）

	月々	1年一括
個人	一口 1,000円	一口 12,000円
法人	一口 2,000円	一口 24,000円
学生		3,000円

- ◆皆様への手数料等のご負担はありません。
  - ◆会費は税法上の寄付金控除の対象となります。
  - ◆特典：報告書などの無料送付  
カンボジア商品の割引購入  
主催コンサート時の優待席確保 ほか

余っていませんか？提供してください！

自コピ一用紙・色コピ一用紙（どちらもA4サイズ）、水のり・固形のり、ポータブルDVDプレーヤー

セカンドハンド イベント&ボランティア情報

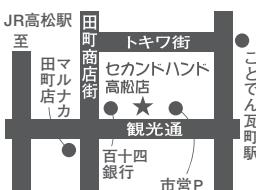
月々の会計報告書はセカンドハンド店頭に掲示しています。

日 程	内 容	場 所
毎月第3木曜日	ボランティア体験デー	セカンドハンド高松店・松縄店
2月10日(日)～14日(木)※予定	カンボジア視察渡航	
3月上旬	カンボジア渡航(保健衛生指導者育成プロジェクト)	
4月16日(月)～20日(金)	ボランティア体験ウィーク(発送作業)	セカンドハンド本部
4月21日(土)・22日(日)	セカンドハンド通信92号発送作業	セカンドハンド本部

## 本部・高松店

〒760-0055 高松市観光通1-1-18  
TEL:087-861-9928

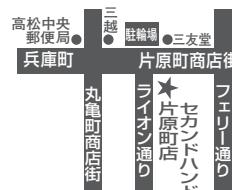
営業時間:月～金 10時～16時  
土 11時～15時  
日・祝日は定休日



# 片原町店

〒760-0040 高松市片原町9-1  
TEL:087-822-3552

営業時間:月~金 10時~18時  
土・日・祝日 10時~17時



# 松緯店

〒760-0079 高松市松縄町37-5  
TEL:080-4999-0494

Email: matsunawa2hand@ymobile.ne.jp  
営業時間: 11時~19時(仮)



セガントラン  
のネットワーク

## ■セカンドハンド北海道

吉

(Email) 2hand.hokkaido@gmail.com

<http://www.facebook.com/secondhandhokkaido>

## ■セカンドハンド関東

林 (Email)2hand.kanntou@gmail.com

## ■セカンドハンド大阪

徳 (E-mail) [tokuyo@d1.dion.ne.jp](mailto:tokuyo@d1.dion.ne.jp)

お店番、仕分け作業、事務、イベント運営、チャリティーショップやセカンドハンドの運営を支えてください。ボランティア募集!